



# 第 27 号 千 町 田

## 将来を見据えて 代表理事 山本耕一

今年も残すところ2か月余り。3年前代表理事に就任してあつと

いう間に月日が過ぎ任期も残りわずかになりました。就任した際、

雇用の創出と農業経営をより一層強固にすることが必要不可欠と考

え、魅力ある事業導入はおのずから地域の活性化と世代交代を円滑

に結びつけるものとし積極的にアプローチしてまいりました。

具体的には①水稻の裏作として消費環境に優れた露地野菜(キャ

ベツ)の導入②施設野菜(いちご)の導入(観光農園化)③うるち米

の独自販売を目的とした施設(ミニライセンサー)の導入④露地

野菜および施設野菜の出荷調整場(作業場)の建設⑤3町一体とな

る多面的機能 支払制度へ移行しその事業

推進のための 事務所移転拡 充、を掲げて

事業に取り組



んでまいりま

した。 ミニライ

センター棟及

び出荷調整棟

は国の補助事

業を活用して

今年3月に竣工し、この秋から保

有米縁故米を対象として稼働を開

始し保有米縁故米約1860袋とJA出

荷米約1800袋の合計3660袋余りを処

理する予定です。これはうるち米

全体生産量の約25%となります。露地野菜としてキャベツ栽培の導



ちご栽培と事務所の拡充につきま

しては来期執行部へとバトンを渡

すこととなります。第5期上半期

事業監査を8月に受けた際にのき

の郷の将来についての中長期的事

業計画の協議検討会を開催する様

に要望があり理事・監事役員全員

で検討することとしました。その

長期事業計画を道しる

べに今後ののき

の郷のあるべき

姿が継承出来る

ようにしてい

たいと思います。

### 上半期事業監査会開催

8月20日に平成29年度上半期事業報告会および監査会を開催しました。今年度の事業予定の進行状況や事業収支の説明を行いました。監事より長期計画の企画検討と今後のコメに対する交付金の動向についての勉強会開催の提案などがありました。



いらっしやませ  
8月29日  
島根県

乾燥棟作業棟建築確認  
8月31日  
農林水産省視察

能義第二地区農地整備事業  
9月28日  
経営コンサルタント

### 中秋の名月

今年中秋の名月は10月4日だとか。実際の満月は2日遅れの6日になります。

このすれは月の公転軌道が楕円のため、地球との距離が近いときは公転速度が速く遠いと遅くなるために生じます。そのため十五夜に満月とはならない事があ





# 田んぼの様子

実りの秋を迎えました。

田んぼでは稲刈りがほぼ半分が終了しあとはもち米、こまる、飼料用米です。

稲刈りと同時に乾燥調製施設も稼働し保米・縁故米の処理を行っています。



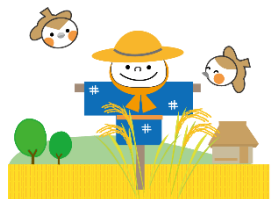
そばの花

そば畑は花盛りで小さな白い花が田んぼいっぱい広がっています。そしてキャ

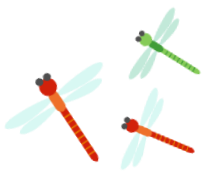
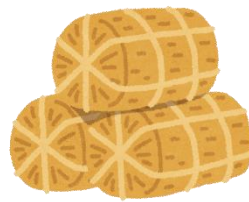
ベツは定植が終わりに順調に生育しています。とまとは収穫に波があるようですがたわいな実をつけています。菜種は本葉が出だしました。大豆も順調に実を付けています



菜種畑



また、刈取りの終わった圃場では堆肥散布が始まっています。水稲以外でも田んぼはにぎやかになっています。



キャベツ畑

## 稲刈り体験学習

9月1日に能義小学校5年生の稲刈り体験学習が行われました。小学校近くのコシヒカリ圃場の一部が刈り残しており、寿会の皆様のご指導を受けながら13人



の子供たちがそれぞれ鎌をもって稲刈りをしました。最初は怖いような鎌使用でしたが、



だんだん慣れて上手に刈り取ることが出来ました。刈取り後はコンバインで脱穀し作業を終わりました。



☞ちよっこ聞いて☞

暑い暑いと言っていたのにあっといふ間に涼しくなり、秋の夜長を楽しむ時期となりました。テレビを見たり読書を楽しんだり、ゆっくろ寝ちやうのも良いですね。その一方で日暮れが早く、せわしない気分になりますよ。夕暮れ時の外出や車の運転には注意しましょう。(次)

